

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171100011		
法人名	社会福祉法人 真栄会		
事業所名	グループホーム 菜のはな		
所在地	佐賀県神埼市千代田町詫田989番地		
自己評価作成日	平成23年1月5日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigojohou-saga.jp/kaigosip/Top.do
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成23年1月27日	外部評価確定日	平成23年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・利用者との関わり方を大切に、コミュニケーションを図る際は必ず目線を合わせ話すことを心掛けています。家事以外の時間も利用者の力を発揮できるように編み物や折り紙、計算問題、貼り絵、塗り絵を楽しんで行っていただくように支援しています。</p> <p>・利用者の状態に合わせた外出支援を行っています。元気な方や外出が好きな方は週に1回は外出していただき、楽しんだり、季節を感じられるように支援しています。体力が低下された方は施設周辺を散歩したり、ホーム内の行事に参加していただいています。</p> <p>・健康面では併設の特別養護老人ホームこすもす苑の看護師、主治医と連携を図り、利用者の方の健康管理を行っています。重度化した場合でも、ご家族や医療機関と連携を図り安心して生活を送っていただくように支援しています。</p> <p>・法人全体で年間の研修計画を作成、実施し職員の質の向上に努めています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>家庭的な雰囲気の中で、利用者の一人ひとりの思いを大切にを念頭に日常生活の支援にあたっている。利用者も年々重度化している中で、その人が持てる機能を勘案しながら自分の部屋の掃除や食事の下ごしらえ、食事の後片付け、余暇時間での編み物、貼り絵等、生き甲斐となるよう支援が行われている。季節の花を見学したり、買い物、散歩等で外へ出かける機会も設けている。併設の特別養護老人ホームこすもす苑やデイサービスの行事の際は、一緒に交流が行われている。また、健康管理面でも、併設の特養の看護師や主治医との連携も密に行われている。今年度は、夜間を想定した火災での避難訓練に、地域の住民の参加協力を得ながら実行されるなど、地域との連携もできつつある。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼時に理念の唱和を行い、理念に基づいたケアができるように日々取り組みを行っている。	毎朝、朝礼時に理念の唱和を行い、理念に基づいたケアができるように日々取り組みを行っている。	地域密着としての理念を毎朝、朝礼時に唱和することにより各職員の意識づけがなされている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	法人で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方の参加があり交流を図っている。又定期的に近所に買い物・外食や美容院に出掛けている。	法人で行う行事(ふれあい祭り・敬老会・避難訓練等)には、地域の方の参加があり交流を図っている。又定期的に近所に買い物・外食に出掛けている。	法人で行う行事等に参加の呼び掛けや、避難訓練の際の協力等地域へ働きかけがなされている。法人全体で、敬老会のときに授産品販売とチャリティーバザーを開催する等、地域の人と関わった試みも行われている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	法人では行っているが、事業所としては行っておらず、実施出来ていない。	法人では行っているが、事業所としては行っておらず、実施出来ていない。			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施。毎月の行事や利用者、職員の活動内容や事故発生状況、研修内容や、家族の要望、サービスに苦慮している点などを報告。委員の方からの意見や助言はG・H会議の時に報告し全職員に周知し、サービス向上に活用している。	2ヶ月に1回実施。毎月の行事や利用者、職員の活動内容や事故発生状況、研修内容の報告を行っている。委員の方からの意見や助言はG・H会議の時に報告し全職員に周知し、サービス向上に活用している。	2カ月に1回の開催がなされ、そこで出された意見等は家族へ書面で郵送されている。また、必要な事柄は、職員で検討しサービス向上への手段として活用されている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には市町村担当者の参加があり、ケアサービス内容を報告し意見や助言等をいただいている。	運営推進会議には市町村担当者の参加があり、ケアサービス内容を報告し意見や助言等をいただいている。	運営推進会議に市町村の担当者が参加しそこで報告される内容に意見や助言をもらっている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体で研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中、玄関は施錠せず、全室開放。ベツトより転落される危険性がある方については畳を使用したり、センサーを設置して対応を行っている。	法人全体で研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。日中、玄関は施錠せず、全室開放。ベツトより転落される危険性がある利用者の方については畳を使用したり、センサーを設置して対応を行っている。	職員は、外部で行われる認知症研修にも毎年参加し、認知症への関わり方の勉強の機会を設けている。状態に応じセンサーマット等の使用もされているが、随時検討を行いながら使用するよう職員への教育も行われている。また玄関には施錠はなく、自由に出入りができる状態にある。センサーで確認ができるように危険への配慮もなされている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体で研修を行い、又外部の研修にも参加し、職員の意識づけを行っている。会議等でも日々のケアを振り返り防止に努めている。	法人全体で研修を行い、又外部の研修にも参加し、職員の意識づけを行っている。会議等でも日々のケアを振り返り防止に努めている。動かれる方についても危険がないように、見守りを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体で研修を行い、また外部の研修にも参加している。しかし事業所、管理者(職員含む)が活用する機会はない。	法人全体で研修を行い、また外部の研修にも参加している。しかし事業所、管理者(職員含む)が活用する機会はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時にはご家族に契約書や重要事項説明書の内容を十分に説明し、理解されたうえで同意を得ている。又、介護報酬改定時は、改めて説明を行い再度同意を得るようにしている。	契約締結時にはご家族に契約書や重要事項説明書の内容を十分に説明し、理解されたうえで同意を得ている。又、介護報酬改定時は、改めて説明を行い再度同意を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先には意見箱の設置を行っている。日々の面会やサービス担当者会議の際に意見や要望を尋ねるようにしている。家族からの意見や要望があれば、会議等で職員に伝え、話し合いを行っている。	玄関先には意見箱の設置を行っている。日々の面会やサービス担当者会議の際に意見や要望を尋ねるようにしている。家族からの意見や要望があれば、会議等で職員に伝え、話し合いを行っている。	家族へは、面会の折を見て随時意見や意向の確認が行われ、必要時は意向に沿って改善が行われている。利用者へは毎日関わる中で、食べたいもの、外出、買い物等意見を聞きながら対応がなされている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回各部署の代表者会議で事業報告や情報交換を行い、意見を聞く機会を設け反映している。	月1回各部署の代表者会議で事業報告や情報交換を行い、意見を聞く機会を設け反映している。	人事考課を取り入れ年2回、職員と面接を行い意見を聴く機会を設けられている。また事業所全体で行う会議の中でも、各事業所からの意見や要望など聞く機会を設けられている。必要時は、改善も行われている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の目標管理の進捗状況を把握し、年2回の面談の折意見を聞く事で考えや思いを理解しているようにしている。	個々の目標管理の進捗状況を把握し、年2回の面談の折意見を聞く事で考えや思いを理解しているようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日頃の仕事を上司が評価し、指導につなげている。個々にあった外部研修に参加できるようにしている。	日頃の仕事を上司が評価し、指導につなげている。個々にあった外部研修に参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県の老施協での研修会・ホーム長会議等に参加し、意見交換を行っている。	県の老施協での研修会・ホーム長会議等に参加し、意見交換を行っている。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前はご本人やご家族に施設見学をしていただき、要望などを聞くようにしている。	入居前はご本人やご家族に施設見学をしていただき、要望などを聞くようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望などをケアプランに取り組み、安心した関係づくりに努めている。	ご家族とは話し合う機会を多く持ち、要望などをケアプランに取り組み、安心した関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の様子などを聞き取り、家族や利用者の要望があれば、事業所・法人内で話し合いを行い検討し支援に努めている。	入居前の様子などを聞き取り、家族や利用者の要望があれば、事業所・法人内で話し合いを行い検討し支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の出来る事、出来ない事の把握を行い、出来ることへの機会作りを行って支援している。(掃除、野菜の下ごしらえ、洗濯もの干し、たたみなど)	個々の出来る事、出来ない事の把握を行い、出来ることへの機会作りを行って支援している。(掃除、野菜の下ごしらえ、洗濯もの干し、たたみなど)また、色々とお話していただき、お互いに助け合いながら関係を築いている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気軽に訪問でき、居心地良く過ごせる事が出来るような雰囲気作りを行っている。又法人、事業所内の行事等にも参加して頂き絆を大切にしている。又毎月ご利用者の状況報告をご家族に行っている。	気軽に訪問でき、居心地良く過ごせる事が出来るような雰囲気作りを行っている。又法人、事業所内の行事等にも参加して頂き絆を大切にしている。又毎月ご利用者の状況報告をご家族に行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	個々が昔の事を思いだして頂くような言葉掛けを行ったり、馴染みの方が面会にこられた時は職員も間に入り一緒にコミュニケーションを図る様になっている。	個々が昔の事を思いだして頂くような言葉掛けを行ったり、馴染みの方には面会に来て頂いたり、馴染みの場所にドライブ等で出掛けたりして支援に努めている。	併設の事業所に入所されている知り合いが面会に来たり、家族に協力をしてもらいながら近所への散歩、ドライブへ出かけ関係性が途切れないような工夫が行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者間の関係を把握し、職員が間に入り利用者同士が良好に関わり合えるような環境づくりを行っている。	個々の状態を把握し、職員が間に入り利用者同士が支え合い、関われるように支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じ情報を提供し相談や支援に努めている。	サービス利用が終了しても、併設の居宅支援事業所のケアマネジャーを通じ情報を提供し相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	希望を伝える事が可能な方には直接尋ね、できない方にはご家族に尋ねたり、ご本人がして欲しい事を職員で話し合いを行い検討している。	個々の思い、意思を大切に支援に努めている。出来る限り職員で話し合いを行い、又家族への声掛け等も行い検討し支援に努めている。	利用者の思いや意向の把握は、毎日のお世話時間の中からは収集し、取り組みやすいことから行われている。楽しく、利用者主体を第一に考え職員間で検討しながら支援に繋がっている。家族の意向は、介護計画作成時、面会時や電話で確認をされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴、入居までの経緯等を本人、家族、ケアマネジャー等より情報収集し、職員全員でアセスメント(生活歴・現状)の作成を行い把握できるように努めている。	入居前の生活歴、入居までの経緯等を本人、家族、ケアマネジャー等より情報収集し、職員全員でアセスメント(生活歴・現状)の作成を行い把握できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	管理日誌、経過記録、医療連携、申し送りノート等で把握に努めている。必要に応じて適宜ケース検討を行っている。	管理日誌、経過記録、医療連携、申し送りノート等で把握に努めている。必要に応じて適宜ケース検討を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントに基づいて本人主体の目標を設定。ご家族の面会時には、日常生活の状況を伝え、要望等も聞き作成している。	アセスメントに基づいて本人主体の目標を設定。ご家族の面会時には、日常生活の状況を伝え、要望等も聞き作成している。	介護計画は、利用者の担当職員やケアマネジャーを中心に、ニーズや意向を確認し職員間で話し合い立案がなされている。実現可能なことを第一に立案し、概ね3か月毎に職員全員でモニタリングを行いながら対応がなされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケース記録に残し、月1回は介護計画の評価を行っている。又介護計画作成時にはアセスメントの見直し、モニタリングを行い、適時ケース検討を行い見直しを行っている。	個々のケース記録に残し、月1回は介護計画の評価を行っている。又介護計画作成時にはアセスメントの見直し、モニタリングを行い、適時ケース検討を行い見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族、利用者で話しを行い、状態に応じ適時ケース検討を行い取り組んでいる。	家族、利用者で話しを行い、状態に応じ適時ケース検討を行い取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近所のスーパーや美容院を利用している。美容院の方とは仲良くなられ、お話しも楽しんでおられる。	近所への買い物や外食の機会を作り、地域資源を活用するようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調に変化があれば、速やかに主治医に報告し、指示を仰ぐようにしている。又他の医療機関受診時ご本人、ご家族の希望を聞き受診の対応を行っている。	体調に変化があれば、速やかに主治医に報告し、指示を仰ぐようにしている。又他の医療機関受診時ご本人、ご家族の希望を聞き受診の対応を行っている。	関連病院の主治医を希望されるご家族が主であり、他の医療機関の主治医を希望される場合も対応が行えるよう協力体制は整っている。また入院時は、ご家族と相談をしながら医療機関を決めるよう支援がされている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に併設施設の看護師が健康チェックを行っている。日常生活での気づきや医療面などの相談をし、助言や指導をいただいている。	定期的に併設施設の看護師が健康チェックを行っている。日常生活での気づきや医療面などの相談をし、助言や指導をいただいている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には家族と共に受診を行い、家族、病院と情報交換を行っている。又入院中も面会に行き、情報交換は行っている。退院後の受診等も対応している。	入院時には家族と共に受診を行い、家族、病院と情報交換を行っている。又入院中も面会に行き、情報交換は行っている。退院後の受診等も対応している。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合については、普段からできる事できない事について説明を行っている。	重度化した場合については、普段からできる事できない事について説明を行っている。	入居時に重度化した場合の指針を基にして、十分に納得のいく話し合いが持たれている。看取りの事例はこれまで無いが、対応出来る体制になっている。身体状況の変化があった場合は、主治医を含めて家族とその都度話し合いが持たれ重度化、終末期対応についての方針が共有されている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人で救急法の研修を実施。AEDや心肺蘇生法を学び、利用者の急変時や事故発生時に備えている。	法人で救急法の研修を実施。AEDや心肺蘇生法を学び、利用者の急変時や事故発生時に備えている。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練実施。また緊急連絡網で全職員に連絡がいくように、定期的に連絡網での訓練も実施している。避難訓練時には地域の方にも参加していただいた。	年2回避難訓練実施。また緊急連絡網で全職員に連絡がいくように、定期的に連絡網での訓練も実施している。避難訓練時には地域の方にも参加していただいた。	今年度は、数名の地域の人の参加もあり夜間想定での避難訓練が行われた。訓練時の反省点を検討し次回の訓練に繋げる工夫もなされている。また今後、地域の消防団との協力が得られるような検討もなされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の性格、認知症の症状を把握し、利用者に合わせて対応を行っている。会議の時でも言葉使いや、声のトーンにも留意するように促している。	個々の性格、認知症の症状を把握し、利用者に合わせて対応を行っている。会議の時でも言葉使いや、声のトーンにも留意するように促している。	利用者は人生の先輩との認識で、職員への教育が実施されている。プライバシーにかかわることは、声かけの方法、接遇、守秘義務等の教育も計画的になされている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できるような言葉かけや、待ちの介護を心掛け、個々の希望や思いを出して頂けるような言葉かけを行うようにしている。	自己決定できるような言葉かけや、待ちの介護を心掛け、個々の希望や思いを出して頂けるような言葉かけを行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者本位のペースで1日を過ごして頂けるように利用者本人の思い、意思を大切にしている。	利用者本位のペースで1日を過ごして頂けるように利用者本人の思い、意思を大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	就寝、起床時には更衣を行っている。また食事や排泄時に汚れた時は速やかに更衣を行っている。おしゃれについてはネイルや化粧を行い支援している。	就寝、起床時には更衣を行っている。また食事や排泄時に汚れた時は速やかに更衣を行っている。おしゃれについてはネイルや化粧を行い支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備(食材の皮むき、切り込み、米とぎ)、配膳、片付けのお手伝いはして頂いている。また食事中も職員と一緒に楽しく話したり、さりげない介助を行っている。誕生会や季節の食事も職員と一緒に計画し楽しんでいただいている。	食事の準備(食材の皮むき、切り込み、米とぎ)、配膳、片付けのお手伝いはして頂いている。また食事中も職員と一緒に楽しく話したり、さりげない介助を行っている。誕生会や季節の食事も職員と一緒に計画し楽しんでいただいている。	食事は、概ね併設の施設で調理を行い運ばれてくる。朝ごはんの米とぎ、汁ものは事業所で作っている。月に1回程度は行事としてたこ焼きづくり等を行い、その折に、出来ることは利用者に行ってもらっている。食器、食卓を拭く等食事の後片付けは楽しく利用者が行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。又食事の量、水分量についても個々に合わせ提供し、チェックを行い支援している。	併設施設の管理栄養士の献立のもとバランスのとれた食事を提供している。又食事の量、水分量についても個々に合わせ提供し、チェックを行い支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行っている。個々の状態に応じて介助をし出来ない方については、ブラッシングやガーゼを用いて対応している。	毎食後、口腔ケアの声掛けを行っている。個々の状態に応じて介助をし出来ない方については、ブラッシングやガーゼを用いて対応している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。	排泄チェック表を使用し、個々にあった排泄パターンでトイレ案内を行っている。	個々に応じ排泄のサイクルを検討し、出来るだけトイレで行ってもらうように声かけ、誘導が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を使用し、毎日確認を行っている。自然排便を促す為に、牛乳の提供や、水分摂取に心掛け、散歩、腹部のマッサージを行い対応している。	排泄チェック表を使用し、毎日確認を行っている。自然排便を促す為に、牛乳の提供や、水分摂取に心掛け、散歩、腹部のマッサージを行い対応している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	個々の状態に応じ、いつでも入浴できるように支援している。又利用者の希望も考慮し、できる範囲で対応している。	個々の状態に応じ、いつでも入浴できるように支援している。又利用者の希望も考慮し、できる範囲で対応している。	利用者の希望に応じ、いつでも入浴ができるような支援がなされている。利用者の重度化に伴い浴槽の検討も行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息していただいている。	午前、午後共に本人のペース、状態に応じて休息していただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が行っている。薬の内容については、ファイルに綴りいつでも確認できるように対応している。又薬の服薬についても確認表を用い、服薬忘れがないように努めている。臨時薬については確認表を用い、現在何の薬を飲んでいるか確認できるようにしている。	服薬管理は職員が行っている。薬の内容については、ファイルに綴りいつでも確認できるように対応している。又薬の服薬についても確認表を用い、服薬忘れがないように努めている。臨時薬については確認表を用い、現在何の薬を飲んでいるか確認できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の状態に応じて役割分担を行い、それぞれにあった対応をし支援し、又裁縫や、折り紙、計算等も行っている。	個々の状態に応じて役割分担を行い、それぞれにあった対応をし支援し、又裁縫や、折り紙、計算等も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(北) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月の季節に応じた行事や買い物等を行っている。毎日の状況やご本人の状態に応じて散歩など出来る限り対応し支援している。又病院受診、美容室、旅行、ドライブ等ご家族の協力も得ている。	毎月の季節に応じた行事や買い物等を行っている。毎日の状況やご本人の状態に応じて散歩など出来る限り対応し支援している。又病院受診、美容室、旅行、ドライブ等ご家族の協力も得ている。	季節に応じ、また、その時々に見に行ったり、買い物や散歩等利用者の希望に応じ支援されている。また、家族と温泉に行ったりされる利用者もあり状態に応じ家族への働きかけも行われている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物等できるように支援しているが、支払いや管理は職員が行っている。	買い物等できるように支援しているが、支払いや管理は職員が行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族からかかってくる事はあがるが、かける機会はほとんどない。	電話は家族からかかってくる事はあるも、かける機会はほとんどない。手紙に関してはかける方については、ハガキ等の準備を行い、書く機会を設けて支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	音、光、温度等は十分に留意している。又窓の外を見て季節を感じて頂いたり、フロアに季節の花を飾ったり、貼り絵や塗り絵等を行い飾って工夫している。	音、光、温度等は十分留意している。又窓の外を見て季節を感じて頂いたり、フロアに季節の花を飾ったり、貼り絵や塗り絵等を行い飾って工夫している。	利用者が居心地良くつるげるように、ソファや掘りごたつ等で家庭的な雰囲気を感じられるような作りになっている。また、フロアには季節の花、壁には行事の写真等飾られ明るく居心地良い空間となっていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファや玄関先のベンチ、掘りごたつがある畳みがあり、思い思いに過ごせるような居場所の工夫を行っている。	フロアのソファや玄関先のベンチ、掘りごたつがある畳みがあり、思い思いに過ごせるような居場所の工夫を行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や鏡台、テレビ等を使用している。	使い慣れた家具や鏡台、テレビ等を使用している。	利用者が余暇時間を利用して作成した貼り絵や、個々に応じなじみの物を持ちこみ落ち着けるような、しつらえがされていた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレには目線に合わせて「トイレ」と張り紙をしている。また分られない方については、その都度言葉かけを行い対応している。	自室、トイレ、お風呂等分かれる方がほとんどであるが、分られない方に対しては、声掛けを行い対応している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○		1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない